



# 静岡市議会2月議会 自民党静岡市議団 代表質問内容



**Q1.** 平成23年度当初予算案の歳出配分の考え方は?

**A**

人口減少や少子高齢化社会への対応と共に、財政健全化にも留意しつつ、第2次総合計画に沿った予算配分を図った。特徴は、①子育て・教育環境の充実、②地域資源を活かした交流の拡大、③地域経済の活性化、④賑いの創出と快適な都市づくりなど。我が国が大きな変革期にある中、豊かな静岡のまちが未来に引き継がれ、地方の時代にふさわしい都市として発展していく事を期待して、集大成となる23年度の予算編成を行った。(市長)

平成23年度一般会計当初予算  
款別歳出分類

項目	額(億円)
総務費	14%
民生費	12%
衛生費	7%
土木費	27.62
教育費	10%
公債費	21%
その他	8%

**Q2.** 東静岡地区の多目的アリーナの整備方針は?

**A**

昨年9月に県と市で東静岡駅周辺地区にぎわい創出検討会議を立ち上げ、県有地も含めて必要な施設や機能、活用方法などについて、県・市の事務レベルの協議を行っている。今後も県・市協力のもと、幅広い見地から調査検討を進め、アリーナ機能の導入も含めた核施設の整備方針を策定していきたい。(経営管理局長)

**Q4.** 中山間地移住促進事業の初年度の成果と来年度の取組みは?

**A**

大きな反響と多数の応募の中から選定された6世帯30名のモニター家族は、地域活動にも積極的に参加し始め、モニター終了後も住み続けたいとの希望を持つ方が多い。また移住を受け入れた地域においても、地域の活性化や新しい担い手としての期待や、学校でも新しい友達ができる喜ばれている。23年度は、①移住者選定等に受入れ地域の意見を反映、②空家を活用した住宅修繕への支援制度の創設、③空家バンク(HPでの空家登録制度)の構築を取り組む。(経済局長)

**Q5.** 清水港魚市場の建替えと水産複合施設整備の状況は?

**A**

清水港魚市場は老朽化が著しい為、23年度中に2段階に分けて解体撤去する。並行して民間の市場開設者が新しい魚市場の建設に着手。24年度中のオープンを目指す。今後も清水港ビジョンの実現に向け、国・県の関係機関と継続して協議を行っていく。(経済局長)



**Q7.** 被災時の水道施設が抱える問題点課題は?

**A**

現在、水道施設の運転管理は、市内3区3か所において分散管理している為、平成21年8月の駿河湾地震では、水道施設の被害状況の調査・把握に手間取り、多くの市民の皆様に心配や御迷惑をおかけした。大規模地震発生時にも迅速・的確な対応を可能とするために、かねてから独自庁舎を建設し水運用センターを構築したいと考えている。(公営企業管理者)

**Q8.** 被災後、迅速な都市復興実現に向けた市の取組みは?

**A**

震災後は、まず救助救援等の応急活動、その後に道路、電気等のライフライン復旧活動、そして復興まちづくり活動に入る。市は、平成18年度に都市復興基本計画策定行動指針を、19年度には被災市街地復興整備条例を定め、更に昨年6月には、まちづくりの専門家である静岡県技術士協会、全日本土地区画整理士会県支部と復興まちづくりの助言に関する協定を締結した。まちの復興に対し、専門的・技術的な助言により、早期の再建につながるものと期待する。(都市局長)

**Q3.** 国宝久能山東照宮を含めた市内観光コース整備の考え方は?

**A**

昨年12月に国宝指定された久能山東照宮には、連日多くの参拝客が集まっている。このようなチャンスを活かして、歴史・文化や港・健康・食など本市ならではの地域資源を有機的に結び付けた観光コースを設定し、内外に広くアピールすると共に、観光パンフレットやロードマップ、観光案内看板等の多言語表示についても継続して整備していく。(経済局長)



平成23年度当初予算 前年度比 95億円 3.6%の増

**一般会計 総額5,507億6,450万円**

## 予算案の規模

一般会計	2,762億円
特別会計	1,869億8,850万円
企業会計	875億7,600万円

対前年度比較

区分	平成23年度	平成22年度	増減額	増減率
一般会計	276,200,000	266,700,000	95億円	3.6
特別会計	186,988,500	196,779,300	-△98億円	△5.0
企業会計	87,576,000	86,036,000	5億円	1.8
合計	550,764,500	549,515,300	12億円	0.2

## 歳入の状況

**1 市税** 1,236億円 対前年比 +17億円 +1.4%

平成23年度の市税収入は、個人の雇用情勢が依然と厳しいものの、景気の持ち直しによる企業収益の増加により、法人市民税が増加するものと見込んでいます。

個人市民税	約400億円	△ 0.5億円
法人市民税	約110億円	+ 20.0億円
固定資産税	約537億円	△ 3.5億円
都市計画税	約107億円	+ 0.5億円
市たばこ税	約 39億円	△ 1.0億円
事業所税	約 32億円	+ 2.5億円
軽自動車税	約 10億円	
鉱産税	約 4万円	
特土地保税	約 60万円	
入湯税	約265万円	

## 予算編成の概要

市税、地方交付税などの一般財源の大幅な増加が見込めないなか、生活保護費や自立支援給付費等の扶助費や公債費、国民健康保険事業や介護保険事業会計への繰出金が大幅な増加が見込まれています。

23年度は企業収益の回復等により地方税収入が増加していますが、社会保障費や公債費が高い水準で増加しており、職員減や給与費が減少しても、依然として大幅な財源不足が生じています。

## 歳出の状況

**1 義務的経費** 約1,404億円 +56.2億円 +4.2%

人件費は給与改定や定員管理などにより減となったものの、子ども手当、生活保護費などの増により扶助費が大幅に増加し、また、公債元金の増により公債費が増加していることから、義務的経費全体では56.2億円の増となっています。

	平成23年度	平成22年度	増減
人件費	488	497	△9
扶助費	526	465	61
公債費	391	386	5
合計	1405	1348	56

**2 投資的経費** 約505億円 +2.6億円 +0.5%

投資的経費は、清庵新構想高等学校建設事業、富士見団地建設事業、東静岡新都市拠点整備事業、市街地再開発事業などが増加しましたが、ほぼ前年と同様な規模となっています。

	平成23年度	平成22年度	増減
普通建設	500	494	6
公共	254	180	74
単独	24	314	△68
災害復旧	5	9	△4
合計	505	502	3

## 主要事業

### 1 鎌田配水場築造事業

鎌田配水場 完成イメージ

※目的…駿河区長田地域における安定供給の確保と災害等緊急時の応急給水に対応する。



※事業費…7億5,100万円  
平成22～24年継続事業

### 3 急病センター・こころ健康センター建設事業

予算額…216,200千円



※建設地…東静岡駅周辺土地  
区画整理事業内  
※建物…鉄骨造 2階建  
延べ床2400m<sup>2</sup>  
1階…急病センター  
2階…こころの健康センター

### 2 生活交通対策事業

路線バス維持費…総額3億4千2百万円

○バス路線維持対策費

予算額…120,376千円

事業概要…駿河区役所アクセスバス運行業務  
自主運行バス運行業務(井川・両河内・由比)

○市街地バス路線維持費助成

予算額…108,275千円

事業概要…市街地の不採算バス路線維持のためバス事業者に助成する。  
庵原線・用宗線・牧が谷線ほか14路線

○中山間地バス路線維持費助成

予算額…113,300千円

事業概要…山間地の不採算バス路線維持のためバス事業者に助成する。  
葵区清瀬地区の過疎地  
有償運行事業者に助成する。

